

71. おみやげ菓子

旅のおみやげにしてほしい数々の和菓子

京都、松江とともに三大和菓子処として知られる金沢には、旅のおみやげにぴったりの和菓子が数多くある。

「きんつば」は日本各地で見られる和菓子だが、金沢でも多くの和菓子店が製造・販売している。基本的に金沢のきんつばは四角い形で、餡と寒天、砂糖を煮て四角く整え、周囲に薄く衣を塗ったものが多い。どの和菓子店でも甘さが控えめで、おみやげに非常に喜ばれる。小豆の代わりにエンドウ豆や芋餡を使ったものもある。

「しばふね」という和菓子は、生姜味の蜜が塗られた小麦粉のせんべい。かなり強い生姜の風味が最大の特徴で、甘辛いような味。歴代の加賀藩主が愛した菓子といわれる。その名の通り柴を積んだ舟をかたどったもので、小判型がよく知られているがねじった形のものも販売されている。

なお金沢には最中の皮のトップメーカーがあり、和菓子店ではこぞって独自の最中をつくっており、もっちり・しっとりとした皮の最中がいただける。形も味もさまざまで、起き上がり小法師の形をしたものや、皮と餡が別々になり自分で餡を詰めていただくものなど実に多様。また正月には福梅という紅白の最中が欠かせない。

さらに人気があるのが「麸まんじゅう」。餡などを生麸でくるんだもので、あまり日持ちはしないが生麸のもちもちした食感と上品な甘さがクセになる。中の餡は店によってさまざま。

このほかにも和菓子店が創意工夫を凝らしたオリジナル商品を扱っている。金沢に来たときには、和菓子店自慢の品々をぜひおみやげにしてほしい。



きんつばの一例



しばふねの一例

メモ JR 金沢駅構内にある「金沢百番街」のおみやげ館や、兼六園の近くの石川県観光物産館などには、金沢の代表的な和菓子店が集まっているため、一度にいろいろ購入できる。また百貨店などでも入手できる。

問い合わせ先 石川県菓子工業組合 TEL076-221-8366

<http://www.kashikaikan.or.jp/>